

新大阪駅～万博会場シャトル 自動運転バスについて

ここに注目！自動運転バスの特徴

国内初！観光バスタイプのEV車両での自動運転

【ポイント】

- 全席着座型の観光バスタイプ車両での自動運転（最高速度：60km/h）は国内初めての取り組みです。
 - 万博バスの専用道として開通する淀川左岸線の一部区間（約4km）を性能としてはレベル4相当の自動運転で走行します。
 - 環境にやさしいEVバスです。さらに、車両後部の電光表示には、新技術のペロブスカイト太陽電池を使用しています。
- ※ レベル4水準の自動運転システムを用いていますが、法令上はレベル2自動運転のため乗務員が運転席に乗り、手動介入する場合があります。
- ※ 自動運転システムの状況や調整の都合により手動での運行となる場合があります。
- ※ 自動運転は万博会場行きのみ（豊崎入口から海老江JCTまで）行い、新大阪駅行きは手動運転となります。

運行ダイヤ・乗車券等について

➤ 運行予定

月・木・金・土・日曜日の以下2便

①10時30分新大阪駅発（会場11時00分着）

②14時30分新大阪駅発（会場15時00分着）

※運行日およびダイヤは変更となる場合があります

➤ 定員

28名（事前予約制）

➤ 乗車券

ご購入・ご予約には「[KANSAI MaaS](#)」アプリのダウンロードが必要です。

➤ 運賃

1,500円（手動運転の通常便と同額）

車両について

中型観光タイプEVバス（全長：8.8m）

〈株EVモーターズ・ジャパン製〉



➤ 搭載センサ

- LiDAR（8台）
- カメラ（10台）
- 磁気マーカーセンサ（1台）

複数のセンサー等により取得したデータを基に自車位置を推定し、あらかじめ設定した走行軌跡や目標速度に合わせて走行します。